学校番号	３０２０

令和８年度　地理歴史・公民科

教科	公民科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「図説地理資料　世界の諸地域 NOW　2026」（帝国書院） 「高校生の地理総合ノート」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業を大事にしてください。教科書や資料集を読んで大事だと思う箇所はどんどん自分でチェックを入れ、主体的に学習に取り組んでください。ノートは板書を正確に記入するだけでなく、疑問や考えたこと、思いついたことをメモすることも大事です。地理的な作業を行ったり、地図や地理情報システムを利用したりして、ハザードマップや地理的統計の作成を端末で行うこともあります。また文章・レポートを書いてもらうことも多いです。世界の諸地域を学びます。国際的な視野を持ち、普段から新聞やニュースなど報道に触れてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

世界各地の地形・気候などの自然環境、産業・民族・言語・宗教などの社会環境の学習を通じて、地域ごとに育まれてきた人々の暮らしや生活文化の多様性を理解する。気候変動などの環境問題や経済格差の問題、食料・資源・エネルギーなどの地球的規模の課題について理解する。地理情報システム（GIS）など近年発展著しいデジタル資料を活用し、目的に応じて必要な統計・地理データを選択・操作できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

グローバルな視点から地球的課題について考える態度を養う。気候変動や経済格差、食料・資源・エネルギーなどの諸問題についての学習を通して、これらの国境を越えて広がる問題の解決にいかなる国際協力が必要か、自分の課題として考え、表現する力を身につける。地理情報システム（GIS）などを活用し、自ら課題を設定し、必要な統計・地理データを選んで課題解決に導けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

世界各地の自然環境や社会環境の学習を通じて地域ごとに異なる文化を尊重しながら国際理解を深める態度を身につける。地理情報システム（GIS）などのデジタル資料を適切に活用し、自ら課題を設定し、興味関心をもって課題解決にあたる態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象について、その特色や意味を、地域・自然環境・民族・宗教などの相互の関連に着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。また、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1章 地図や地理情報システムと現代世界	a:世界地図や地球儀での表現方法、緯度や経度についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。主題図・地理情報システム（GIS）についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b:地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。GIS を操作し、計測結果や主題図を表示している。 c:　地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。紙の地図や GIS に対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート 課題 学習の振り返り	レポート 課題 学習の振り返り

		2章 結びつきを深める現代世界	a:日本の領域や領土問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結びつきについて理解し、その知識を身につけている。 b: 国家と領域、日本の領土問題について、地域性や歴史的背景を多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究している。交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 学習の振り返り	 レポート課題 学習の振り返り
2	国際理解と国際協力	1章 生活文化の多様性と国際理解	a:世界の諸地域の学習を通じて、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。宗教と生活習慣との関わりや特徴について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b:文化の違いがなぜ生じるか、地形や気候・植生との関連など多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 学習の振り返り	 レポート課題 学習の振り返り

		2章 地球的課題と国際協力	a:さまざまな要因がからむ地球的な課題について、基本的な知識を身につけている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 学習の振り返り	 レポート課題 学習の振り返り
3	持続可能な地域づくりと私たち	1章 自然環境と防災	a:日本列島の自然環境について基本的な知識を身につけ、自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解している。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ワーク 小テスト	定期考査 レポート課題 発表 学習の振り返り	 レポート課題 発表 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度